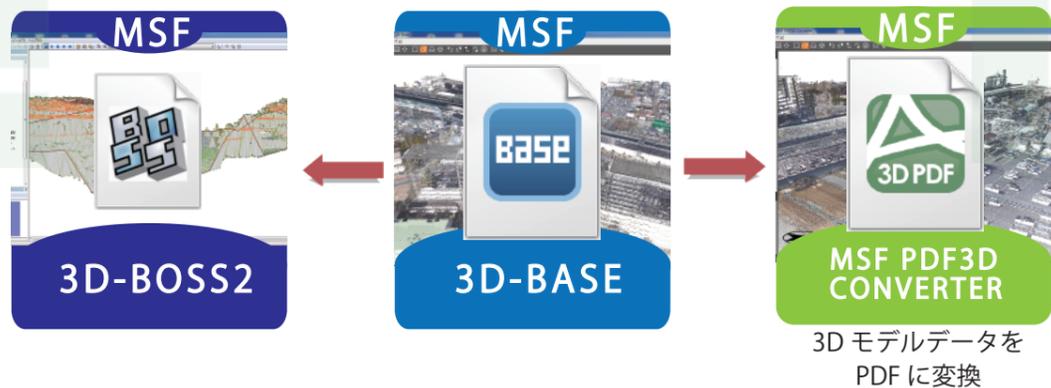


弊社製品の連携

3D-Base で編集されたデータを、そのまま「MSF PDF3D CONVERTER(弊社製品)」で読み込ませる事により、3次元表示が可能な PDF ファイルを作成する事が可能です。作成された三次元PDFファイルはアドビ社製ソフト「Adobe Acrobat Reader DC」で読み込みます。



※PDF ファイルをご覧になるには Adobe Reader DC が必要です。
 ※Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

大量点群管理システム 3D-Base

フィルタ機能付き

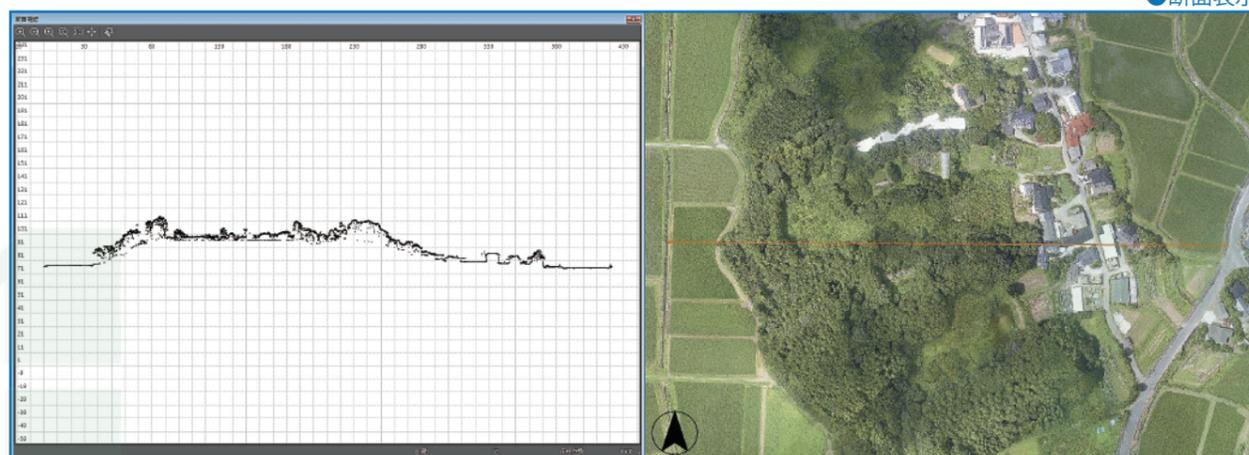
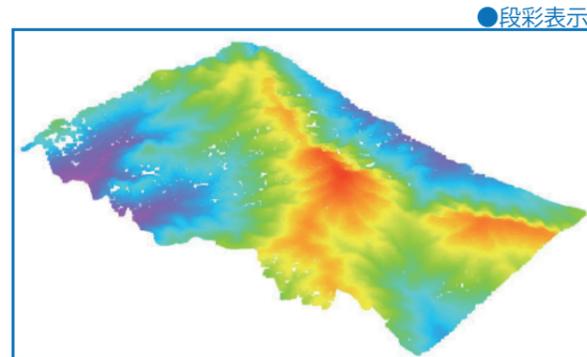


もう大量点群は気にならない！
 まとめてフィルタリング処理を！ **200億点以上確認済み！**



- 「2次元表示」「3次元表示」「鳥瞰表示」「オルソ表示」が行なえます。
- CAD データをインポートすることで背景に表示できます。
- 断面計算機能があります。
- 着色座標であればカラーモードで着色なしであれば段彩表示ができます。

処理点数はこのデータで **110億点** 以上です。



その他の機能

- 新機能！
 フィルタリング時にパラメータを変更してプレビューする機能！（本カタログ見開き内側の右上部で説明）
- 座標インポート
 poi(弊社座標フォーマット)・txt・csv・las・e57・xml(国土地理院専用の5m.10mメッシュ座標データ)・mpcd(大量座標点ファイル)
 ※インポート時に「ファイル指定」「フォルダ指定」「フォルダ指定(重複処理)」などの処理方法が選択可能。
- 座標エクスポート
 poi(弊社座標フォーマット)・txt・las・e57・bos2(弊社製品「3D-BOSS2」フォーマット)
 ※エクスポート時に「全範囲」「範囲内」「ブロック分割」「ファイル指定ブロック分割」などの処理方法が選択可能。
- 表示方法
 二次元ビュー・三次元ビュー・パードビュー・オルソビュー
- 等高線
 等高線作成・削除・エクスポート(dwg・dxf)
- 色取得
 通常ワールド座標管理されている画像ファイルは、****.tifと同じところに****.tfwのファイルが存在します。(****は同名)上記が保存してあるフォルダを指定することで、オルソ画像と同一位置にある座標データに色情報を付加できます。
- 計測(二点間計測・範囲計測)
 二点間計測は二点間の情報(始終点XY座標・距離・斜距離・勾配・ΔXYZ)を計測。
 範囲計測は任意形状で囲まれた情報(面積・外周・ΔXY)を計測。
- 詳細表示設定
 - ・表示 → 背景色[選択] / 方位記号[表示有無と位置設定] [サイズ設定] / 光源[使用有無] [光量設定] [方向設定]
 - ・座標点 → [表示有無] [サイズ設定] [自動サイズ調整有無] [色タイプ選択と色設定] [補間点表示有無]
 - ・面 → [表示有無] [スムージング有無] [色タイプ選択と色設定] [補間点表示有無と設定]
 - ・除外点 → [表示有無] [色タイプ選択と色設定]
 - ・フィルタプレビュー → [色設定]

- 動作環境
 - OS** Microsoft® Windows10 / Windows8/8.1 / Windows7 (各OS全て64bit版)
 - CPU** Intel Core i5以上またはAMD A10以上推奨
 - メモリ** 8GB以上の空き容量(16GB以上の空き容量推奨)
 - HDD** 内臓SSD推奨
 - ディスプレイ** 1024×768以上の解像度推奨

※Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国またはその関連会社の商標です。
 ※IntelおよびIntel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
 ※AMD、A10は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

株式会社未来システム工房

〒065-0022 札幌市東区北22条東3丁目1-35
 ハイテクビルさっぽろ141

Tel 011-792-5211 Fax 011-792-5555
 URL <http://www.miraisystem.jp/>

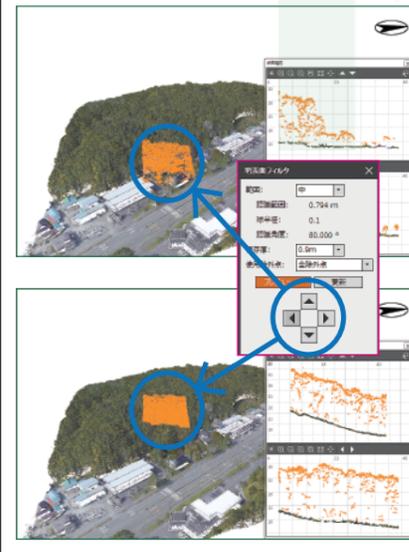
静岡営業所 〒421-1215 静岡市葵区羽鳥5丁目14-37

開発元

販売元

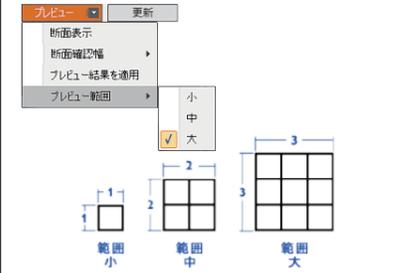
注目ポイント 2

十字キーをクリックし、簡単にプレビュー範囲を移動できます。



注目ポイント 3

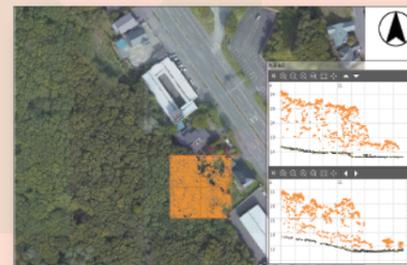
プレビュー範囲の大きさは、大・中・小の3種類の中から選択可能!



三次元表示プレビュー

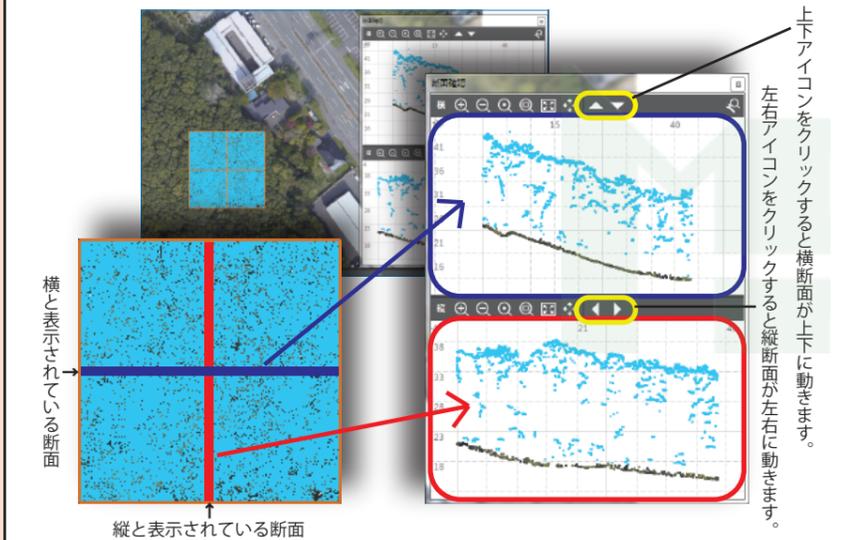


二次元表示プレビュー



注目ポイント 1

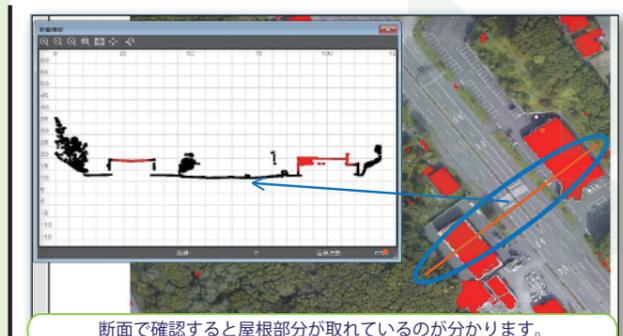
プレビュー範囲内の断面(縦方向・横方向)を表示する事が出来ます。更に、簡単なクリック操作で断面の位置を移動させ、即座にその断面を表示!! それと同時にフィルタリングの計算結果が断面表示に反映されます!!!



●地表面フィルタ



●建物フィルタ

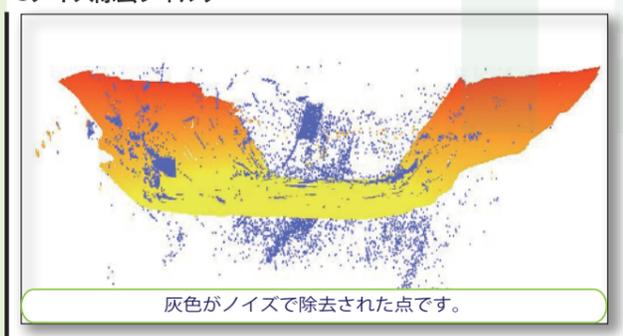


断面で確認すると屋根部分が取れているのが分かります。

●色フィルタ



●ノイズ除去フィルタ



灰色がノイズで除去された点です。

●海底面フィルタ

地表面フィルタとは逆に標高の高い座標を残し、それ以外を除外します。

●間引きフィルタ

指定値から分析された使用値のピッチ内にある座標1点だけを抽出し、それ以外を除外します。

●近似点フィルタ

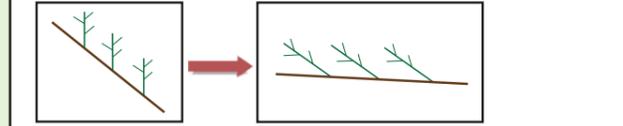
・許容誤差値の範囲にある座標を同一点と認識し除外します。
・間引きフィルタとは違い、座標点1点ずつの処理を行う為時間がかかります。
※広範囲・高密度の座標データの場合は、「間引きフィルタ」処理をお勧めします。

●高低差フィルタ

指定値と離れを設定し、処理条件に当てはまらない座標を除外します。海中などで路線計測をする時に、重複部の整理を行います。

●回帰面フィルタ

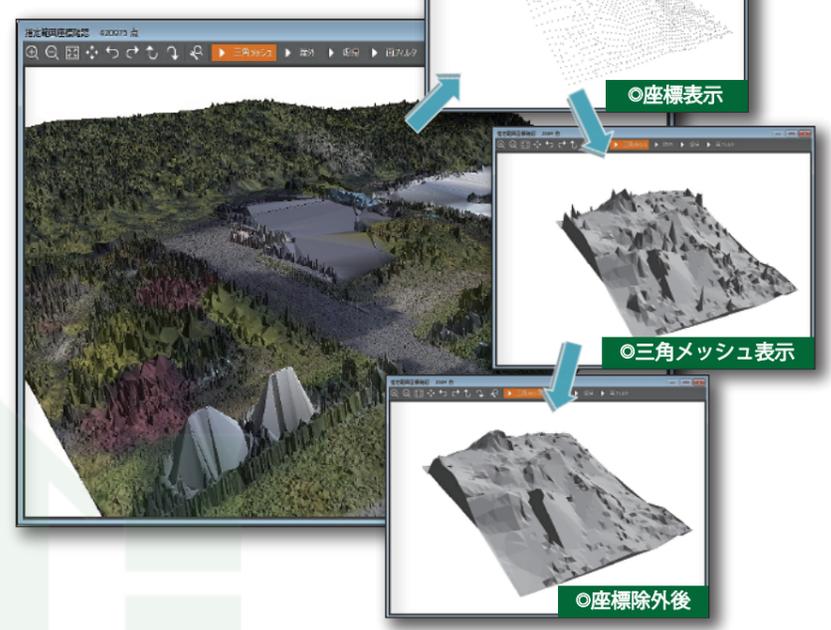
崖面などの勾配が急な部分の高さを面回帰させ、フィルタリングを実行し座標を除外します。



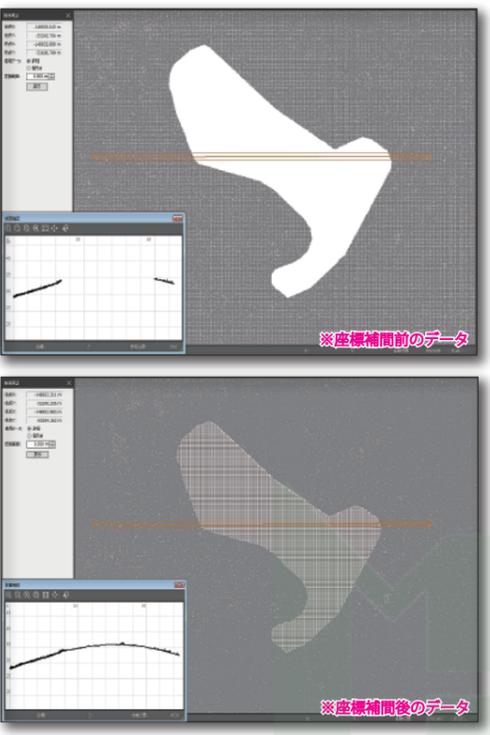
左図のように傾斜など勾配が急な部分にある樹木データはフィルタリングできない事がある為、右図のように面回帰させて処理を実施できます。

範囲座標編集

大量点群データの一部範囲を三角メッシュで表示し、マニュアル操作で効率よく除外作業が行えます。



座標補間



KML ファイル作成

ポリラインの起点と終点を設定することで、GoogleEarth で開ける KML ファイルを作成できます。GoogleEarth にて作成した場所と同座標を確認できます。

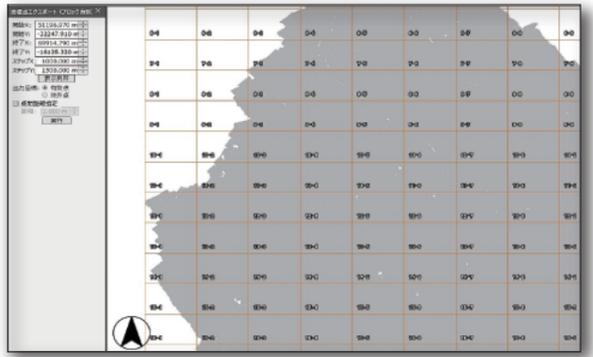


尚、上図で使用している KML ファイルは当社ホームページからダウンロードする事が出来ます。興味のある方は 3D-Base の製品案内から KML ファイルをダウンロード後、KML ファイルをダブルクリック!

※KML ファイルの実行は『Google Earth Pro』がインストールされているパソコンで行ってください。

座標エクスポート (ブロック分割)

全座標をブロックサイズで複数枚の座標ファイルに出力します。



座標エクスポート (ファイル指定ブロック分割)

ブロック定義 (開始XY, 終了XY) が設定されているファイル (txt, csv) を読み込み、複数枚の座標ファイルにエクスポートします。ブロックサイズがさまざまな場合でもブロックごとの開始左下、終了右上の座標を設定したファイルを読み込むことでブロック分割のエクスポートが可能です。